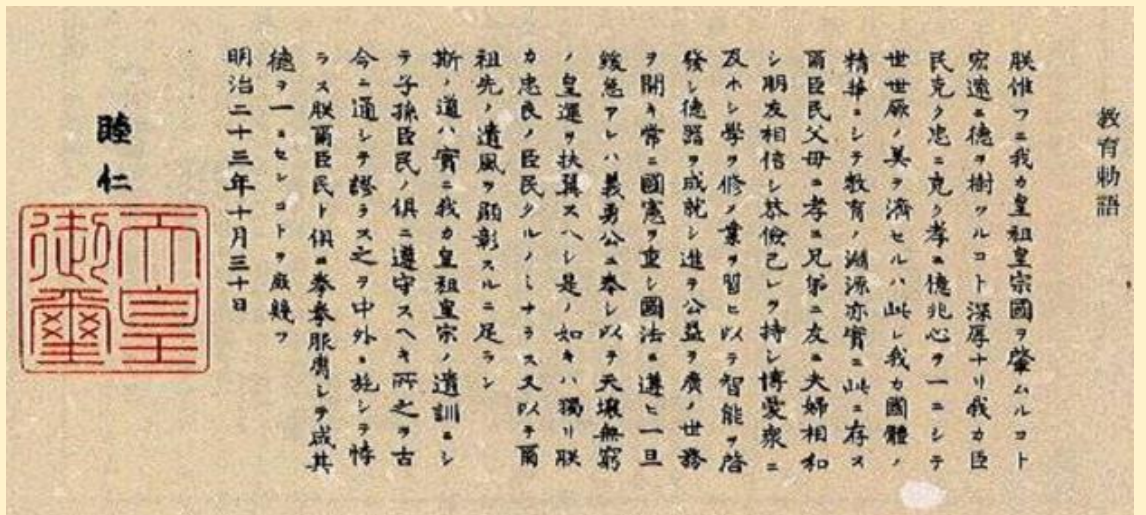


4 教職の道へ



明治天皇



教育者の道に進むきっかけとなった「教育ニ関スル勅語」



内閣法制局長官
井上毅(熊本県)



儒学者
元田永孚(熊本県)

教育勅語起草者

志賀哲太郎

京都オリエンタルホール
で英語を学ぶ

元判事深野達に従い
法律を学ぶ

修身・道徳教育
の規範

台湾教育令



原水小学校跡・大原義塾跡 (菊陽町南方公園)

明治23(1890)年10月熊本県出身の井上毅(いのうえこわし)と元田永孚(もとだながざね)が起草し明治天皇によって「教育ニ関スル勅語」が發布されます。これが哲太郎を教育者としての道に進ませるきっかけとなります。哲太郎は教師になるため記者をしながら明治24(1891)年2月から京都オリエンタルホールで英語を学び、明治25(1892)年8月から元控訴院判事深野達に従い法律学を勉強しました。そして政界と決別するや原水小学校の訓導(くन्दう)となります。しかし、彼の意を伸ばすには余りにも型にはまりすぎでした。勧める人があって、大原義塾の塾頭に転じましたが、ここも彼の意に叶わず、苦悩の末に辞めます。